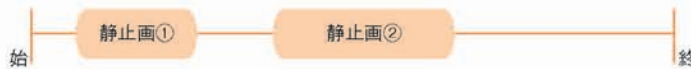


同時進行型



鳥取県大山町立名和小学校
加藤 浩之

実践テーマ

大陸文化の摂取について、遣唐使ルート図やシルクロード図を読み取ったり、気づいたことを書き込んだりして理解する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

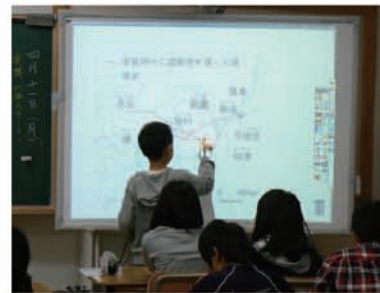
- 〈導入〉 弥生、古墳時代の遺物の写真と正倉院宝物の写真とを比較提示し、特徴や違いについて話し合う。(正倉院宝物の特徴についてとらえる)
- 〈展開〉 遣唐使ルート図やシルクロード図を読み取り、文化の伝播について理解する。(正倉院宝物には世界的な文化の影響があることがわかる)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・正倉院宝物を見て、前時代の遺物との違いを見つける(静止画①)。	●教科書の写真「正倉院の宝物」(東京書籍(株))
展開	・遣唐使ルート図やシルクロード図を読み取り、文化の伝播について理解する(静止画②)。 ・鑑真が仏教伝来に努力した様子を資料から読み取る。	●教科書の図「大陸との交流」(同上)
まとめ	・天皇が大陸文化を摂取しようとした目的を考える。	



写真を見て気づいたことを書き込む



遣唐使ルート図に気づいたことを書き込む

児童の反応・効果

- ・写真資料や地図資料を拡大提示してそれらに書き込むことにより、正倉院宝物の特徴や文化の伝達の様子をわかりやすくとらえられ、話し合いを深めることができた。

活用のポイント

- ・あらかじめPCに取り込んである教科書資料(弥生・古墳時代の写真等)を電子黒板に提示し、気づいたことや前時代の遺物との違いを書き込み、話し合いに生かすことができる。
- ・地図資料へ書き込みをし、大陸文化の伝播の様子をとらえ、理解を深めることができる。